

「弁当の日」応援プロジェクト 派遣講師 (順不同)

竹下 和男 (たけした かずお) : 「弁当の日」提唱者 1949 年生まれ
小学校、中学校教員、教育行政職を経て 2000 年度より綾南町立滝宮小学校校長時代に弁当の日を始める。03 年度より国分寺町立国分寺中学校校長 08 年度より綾川町立綾上中学校校長 11 年度よりフリーで執筆・講演活動中

内田 美智子 (うちだ みちこ) : 助産師 1957 年生まれ
助産師として数多くの出産に立ち会う一方、思春期保健相談士として思春期の子どもたちの悩みも聞く。
「生」「性」「いのち」「食」をテーマに全国で講演活動を展開。

佐藤 弘 (さとう ひろし) : 西日本新聞社 編集委員・前原支局長 1961 年生まれ
西日本新聞の長期企画「食卓の向こう側」で弁当の日を取材、「弁当の日」の広がるきっかけをつくる。

安武 信吾 (やすたけ しんご) : 西日本新聞 編集委員 1963 年生まれ
88 年、西日本新聞社入社。久留米総局、宗像支局、運動部、出版部などを経て 2015 年 8 月より現職。乳がんで亡くなった妻千恵さん・娘のはなちゃんとのドキュメンタリー「はなちゃんのみそ汁」(文藝春秋刊)が映画化。

比良松 道一 (ひらまつ みちかず) : 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授 1965 年生まれ
「弁当の日」を取り入れた体験型講義「いのちの授業」「自炊塾」で学内外の注目を集める。小中高校生の心に訴える授業にも定評がある。

稲益 義宏 (いなます よしひろ) : 福岡市立舞鶴中学校教諭 1966 年生まれ
担任 1 人でも始められるコース別弁当の日「イナマス方式」を実践。子どもたちが自分でできる食の実践力を高める学習を展開。2007 年度地域に根ざした食育コンクール入賞。

柴田 真佑 (しばた しんすけ) : 大分県佐伯市まちづくり推進課食育推進・市民協働係総括主幹 1967 年生まれ
市の総合計画や地域振興や人材育成事業に取り組むとともに「食のまちづくり」に関して研鑽。現在は「食育推進・市民協働係」として活動する傍ら、全国各地で講演活動を行っている。

福田泰三 (ふくだ たいぞう) : 長崎市立広田小学校 教諭 1967 年生まれ
子どもの「くらし環境」の重要性に気づき「食育」活動を実践。「弁当の日」「みそしるの日」「健口教育」などさまざまな活動を実践。2008 年 文部科学大臣優秀教員表彰。

平尾 文 (ひらお あや) : 広島都市学園大学 健康科学部 講師 1972 年生まれ
大学生の食の乱れを目の当たりにし、授業前に「おにぎり」と味噌汁」の提供をはじめたところ、学生たちが自主的に調理に参加するようになり「一品持ちより弁当の日」を実施。

土岐山 協子 (ときやま きょうこ) 『おだしプロジェクト』主宰 1972 年生まれ
「おだしを通じて和の心を理解し、時間とひと手間をかけることで子どもに愛情を伝える料理を作りたい」という思いから、食や女性の生き方を応援するイベント、セミナーを開催している。

佐藤 剛史（さとう ごうし）：九州大学大学院農学研究院助教、農学博士 1973 年生まれ

九州大学で大学生による一品持ち寄り弁当の日を実施。笑いあり涙ありの感動講演。テーマは食育、婚学、人生学、自立学など。

渡邊 美穂（わたなべ みほ）：フリーライター 1974 年生まれ

西日本新聞社記者として「食卓の向こう側」の取材を通じ、食の大切さを痛感。現在はフリーライターとして雑誌や書籍を執筆、講演活動も行っている。

船ヶ山 清史（ふなやま きよふみ）：うどん茶房ふなや経営 1975 年生まれ

「ひろがれ弁当の日 in 宮崎～輝く笑顔と団欒～」実行委員長。学校を中心に講演、弁当の日が育む、子育ての素晴らしさ、子どもの成長の喜びを伝えている。

太田 秀人（おおた ひでと） おおた歯科クリニック院長 1968 年生まれ

保育園、小中学校の学校歯科医として歯科健診のみでなく、子ども達や保護者、教員向けに「口から始める健口教育」の活動を行っている。

その他、「弁当の日」の実践者など全国各地に多数講師候補あり。